

保育ICTを導入すると 保育施設の業務はどう変わる？

令和6年 3月 15日

【参考】令和5年度補正予算保育ICT補助金対象機能



● 補助金の概要（一例）

保育士の業務負担軽減を図るため、保育の周辺業務や補助業務（保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務、実費徴収等のキャッシュレス決済）に係るICT等を活用した業務システムの導入費用及び外国人の子どもの保護者とのやりとりに係る通訳や翻訳のための機器の購入にかかる費用の一部を補助する。

※こども家庭庁「令和5年度補正予算の概要（参考資料）」の保育所等におけるICT化推進等事業より抜粋

補助金の対象となる主な要件

保育計画や記録



具体的なICTツール例

日誌

指導計画

園児台帳

など

保護者連絡



具体的なICTツール例

おたより

連絡帳

一斉連絡

など

登降園管理



具体的なICTツール例

打卡管理

など

実費徴収等の キャッシュレス決済



具体的なICTツール例

クレジットカード決済

QRコード決済

請求・口座振替管理

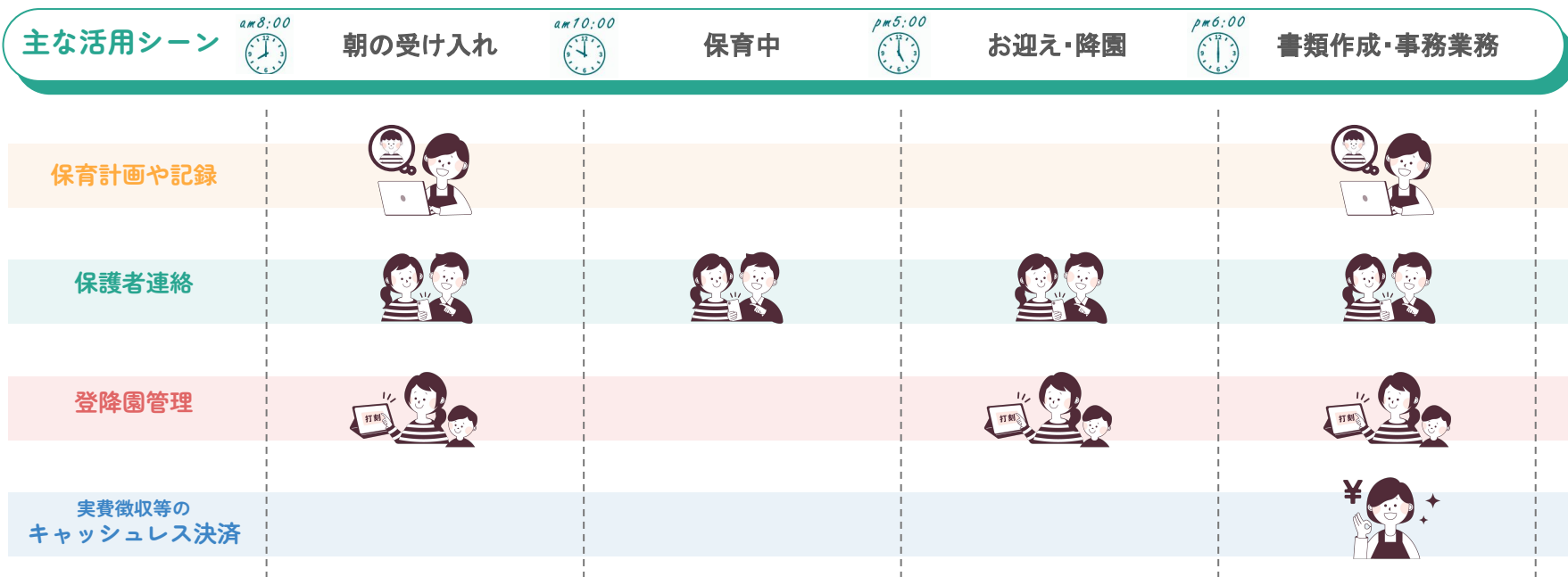
など

NEW

はじめに



保育業務において、ICTを導入すると何がどのように変わるのか、なかなかイメージが湧かない部分もあるかと思います。本資料では、保育CT補助金対象機能を導入した場合の、具体的な園の一日の業務の例を取り上げて、ICTがどう便利なのかをご紹介します。



朝の受け入れ時間（保護者連絡、登降園管理）

※登降園管理はお迎え・降園時を含みます



ICT導入前

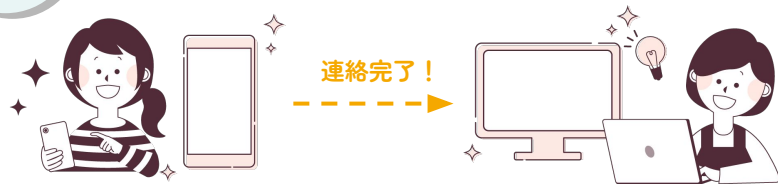
- 朝の忙しい時間帯に玄関と教室と職員室を何度も往復
- 打刻時間の記入漏れのチェック依頼など、保護者も保育者も朝の時間は大変



ICT導入後のイメージ

保護者
連絡

保護者連絡はアプリ経由で園に届くため、先生は子どもから目を離す時間が減る。



登降園
管理

デジタル記録のためスムーズに打刻完了し玄関の混雑なし。打刻漏れも自動で保護者に通知。出席簿の作成も簡単※！（降園時も同様）



●●ちゃん 7:33登園
○○くん 7:35登園



※導入するシステムにより異なります

ICT導入前

- 急な発熱や体調不良の際、保護者が勤務中ではなかなか繋がらないことも...
- 子どもの様子を言葉で説明しづらい
- 電話するべきなのか判断に迷う



ICT導入後のイメージ

保護者
連絡

- 保護者にすぐにメッセージが送れる
- 写真付きで子どもの様子を伝達
- 電話するほどではない留意事項も気軽に送れるため保護者支援をさらにしやすい



ICT導入前

- 全園児分の連絡帳に同じことを記入する場合がある...
- 一つの情報を連絡帳や帳票など複数の書類に記載する必要がある

など、保育者の記入の手間がかかっている



ICT導入後のイメージ

保護者
連絡

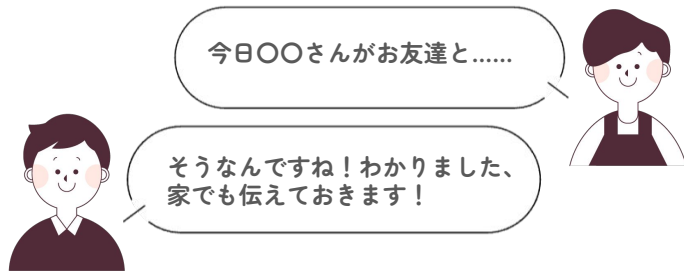
- ICTにすることで、同じことを何度も書く手間がはぶける
- 紙ではないため、隙間時間に記入しやすい

＼ 記入時間を短縮！ ／



ICT導入前

- お迎え時に記入した連絡帳を手渡しする関係で、降園時の保護者コミュニケーションは、事前の情報がない状態ですべて口頭で説明をする必要があった
- お迎えに来る人によって、お伝えする内容の粒度が異なってしまうことがあった

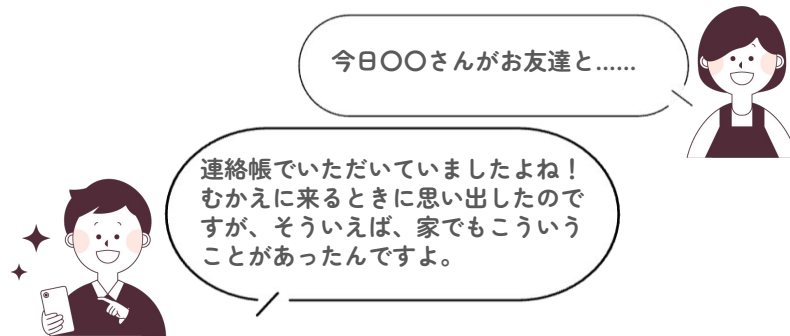


場合によって、家庭内で上手く伝わらないことも.....

ICT導入後のイメージ

保護者
連絡

- お迎え前に連絡帳を送信しておくことで降園時の保護者とのコミュニケーションでさらに一歩踏み込んだ会話ができるように
- 家庭内でも園・施設からの連絡を共有しやすくなる



紙だと記入者が決まっていた連絡帳も、デジタルにすることで家庭内共有ができるように！

ICT導入前

- 先月分や昨年分の参照が、なかなかスムーズにいかないことも...
- 他の書類からの書き写しが多く、書くべき内容に集中しきれないことも



紙だからこその悩みも.....

ICT導入後のイメージ

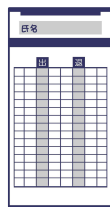
保育計画
や記録

- 写真添付や豊富な文例、前月参照ができるから書きやすく、記憶頼りだった子どもの記録が目前にあるから、新人の視点の育成にもつながる
- 各種データが連携していると、書き写す手間が最小限に



ICT導入前

- 延長保育、預かり保育などの集計作業のため、紙の記録からエクセル等へ手打ちで入力しなおす必要があった



手打ちで
入力
→



表計算ソフトで
集計したり
管理表を作成



時間がかかったり、ミスが起きやすい

ICT導入後のイメージ

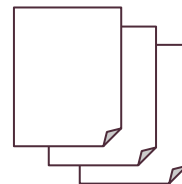
登降園
管理

- 打刻記録はすでにデータ化されているので手入力の必要なし
- 料金の集計や別の書式資料への変換も手間が省ける

＼ データは自動入力済み ／



集計や
管理表の作成
も簡単に
→



時間も短縮でき、入力ミスも防げる

ICT導入前

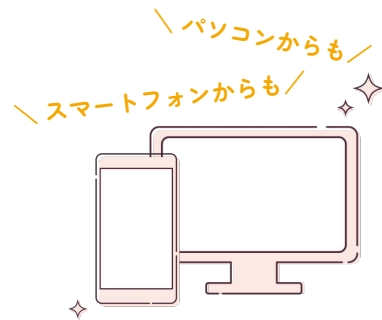
- 保護者への一斉連絡の機会が多いけれどやり方はさまざま...
 - 印刷経費やプリントを折る作業も発生
-
- ✓ 保護者災害・緊急メール一斉配信
 - ✓ 掲示板や電話でのクラス連絡
 - ✓ 持ち物・忘れ物の連絡
 - ✓ 園だより・献立などの
 - ✓ 毎月のプリント連絡
- など、日々の連絡は多い



ICT導入後のイメージ

保護者
連絡

- 管理者がパソコンから一斉連絡したり、クラスの先生が写真付きで連絡したり、多様な使い方
- 添付ファイル送信で印刷できるため、印刷経費や折る手間が省ける



保護者に届く！



ICT導入前

保護者に関する集金業務は、保育料等の計算以外にも用品の販売など多岐にわたる

- 請求書や領収書の発行などが発生する
- 保育料等の計算も園児ごとによって計算が必要
- 現金を預かる責任も大きい



ICT導入後のイメージ

キャッシュレス決済

- 管請求額の計算、請求書や領収書の発行はすべて自動で行われるため、計算や発送業務の手間がなくなる
- 現金を預かるストレスがなくなる



ICT導入園の声



さくらしんまち保育園 東京都

保育園には膨大な情報が溢れています。それを管理し、活用し、伝達していくことは容易ではありません。短期的に記憶しておいて、後で他の職員やご家庭に伝えることが多いとそれだけで頭がいっぱいになり、時には伝え忘れてしまうこともあります。それを解決する為にICTを導入することにしました。

今は申し送りなど細かい共有事項含めて、こまめに入力して使っています。記憶力に頼って覚えておかなきゃ、という焦りがないので、目の前の子どもに集中できるようになりました。

月隈こども園 大分県

保育の質を向上し離職を防ぐためには業務負担軽減が必須だと考えていましたが、マンパワーが足りず職員に負担がかかっていました。研修をもっと受けてほしいという気持ちはありながら、集まってもらうことから始めなくてはならず、そのための時間の確保も大変でした。ですが、ICTベンダーの提供する研修サービスが利用できることにより、オンラインで動画でいつでも見られるので、職員に声をかけやすくなりました。

ドレミナーサリー 埼玉県

当園は園児数も多くなく、先生方もベテランが多いため毎日口頭で伝達も済む状況ではあったものの、デジタル化（ICT化）することで、全ての先生がクラスの隔たりなく子どものことも保護者のことも、より把握できるようになったと感じています。

これまでは手書きで記帳していましたが、「今日は○○ちゃんはどうだった」とそれぞれの先生の頭の中に入っていることも、記録として共有できます。また、情報を一度入力してしまえば、別の書類に反映させられる・別の形式に整えるといったことが簡単になりました。これまで手書きで書き留めておいて、別の用紙に書き直す・転記するといった二度手間の作業から解放されたように感じます。書き写すことによるミスも防げます。